

## 平成 21 年度 海技大学校研究発表会プログラム

日 時 平成 22 年 8 月 2 日 (月) 1310～1700

場 所 海技大学校 第一 PC 演習室

1310～1315	開会挨拶	研究管理委員長 航海科教授 岩瀬 潔
-----------	------	--------------------

第 1 セッション 座長：航海科教員

時間	講演題目及び講演者
1315～1345	講演「ISM コードの利用による船員処罰の回避（上）」 －乗組員の個人処罰から法人(会社)処罰へのアプローチ－ 航海科准教授 逸見 真
1345～1415	講演「事例研究－護衛艦「あたご」漁船「清徳丸」衝突事件－」 航海科教授 岩瀬 潔
1415～1445	講演「ウェザールーティングの有効性の検証－北太平洋航路の解析－」 航海科教授 堀 晶彦
1445～1515	講演「海の技術者づくり－Ⅱ」 －船舶運航における OJT に関する研究－ 航海科教員

第 2 セッション 座長：機関科教員

1530～1600	講演「オブジェクト指向型エンジニアリング教育教材のデザイン」 機関科教授 野尻 良彦	
1600～1630	講演「内航船機関士に対するチーム意識醸成訓練の試み」 機関科准教授 近藤 宏一	
1630～1700	講演「ETM 船員教育訓練の研究」 機関科教員	
1700	閉会挨拶	研究管理委員長 航海科教授 岩瀬 潔

・講演には、5 分程度の質疑応答の時間を含みます。